

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	0372700716
法人名	有限会社 チバコウ
事業所名	グループホーム 美葉
所在地	岩手県一関市千厩町千厩字岩間38-4 (電話) 0191-53-3533

評価機関名	(財)岩手県長寿社会振興財団		
所在地	岩手県盛岡市本町通り3丁目19-1-3F		
訪問調査日	平成19年 9月 6日	評価確定日	平成19年 10月 22日

【情報提供票より】(平成19年 8月12日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和 平成 16年 12月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9人	常勤 6人, 非常勤 1人, 常勤換算 8人	

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋建造り		
	1階建ての	1階 ~	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	300 円	昼食 350 円
	夕食	350 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(月 日現在)

利用者人数	9名	男性 3名	女性 6名
要介護1	1名	要介護2	5名
要介護3	1名	要介護4	2名
要介護5	名	要支援2	名
年齢	平均 82.2 歳	最低 74 歳	最高 90 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	岩手県立千厩病院、一関国保千厩歯科診療所、遠藤医院
---------	---------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

市街地から1kmほどはなれた周りは水田、畑、林もある緑に囲まれた自然環境に恵まれた静かな場所で、基本理念を「安らぎ 家庭的な雰囲気」「健やか 自立に向かって」「穏やか 自分のペース」として掲げ、利用者が居心地よく生活できるよう支援しているグループホームである。千厩町初のグループホームで地域への働きかけや、生徒、婦人部等のボランティアの協力も得られており、理念が実践されている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	栄養バランスのチェック、相談・苦情対応の記録、安全管理・安全の確保が課題となっており、職員で検討し課題の改善に取り組み、マニュアルの作成の整備や、各種の記録にも努めた。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は全職員の意見を聞いて実施しており、スタッフ会議(ケアしやすい環境造りのため)がよく開かれ、学習会の取り組みも積極的に行われている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は2カ月に1回定期的に開催しており、会議は事業内容の説明や評価結果の報告をするとともに、委員から質問や意見を受け、会議録は職員回覧して会議に出された意見等は利用者のサービス提供に活用している。散歩中の交通事故等についても検討会議が開かれ、その対策についての取り組みが行なわれている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族が負い目を感じないで、意見や要望などを気軽に伝え反映させる取り組みは重要である。定期的に事業所の活動内容や利用者の生活状況、健康状況等の情報提供を行い、家族の安心を確保し、信頼や協力を得るとともに、相談員を配置したり、毎月発行される広報等を通じてアンケートや意見を求めるなどの機会をつくりながら家族の意見を取り入れている。今後もよりよい関係作りをして欲しいと思う。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	利用者1人ひとりが地域の一員として地域とつながりながら暮らせるよう運動会や祭りへの参加や、地域消防団の協力を得て防災訓練を実施したりして地域との交流に努めています。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	その人らしいペースを大事に又健康を第一に心がけており、パンフレットにも「安らぎ」「穏やか」「健やか」が掲載されている。開所する時にも地域への説明が充分になされており、そういう形を大切にしたい。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	墨で書かれた理念が掲示され、内部勉強会も実施され介護に迷ったときは理念に戻っている。毎月のミーティング等で実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ボランティアで畑作りや草取り、花壇の見学、シイタケづくりの人と一緒に採取に行ったり気軽に立ち寄れる環境づくりがなされている。	○	地域の行事や清掃活動にも参加支援している。自治会行事にも、気兼ねなく参加できるよう関係者と話し合われて、更なる地域との付き合いを期待したいと思う。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価にあたっては、職員の意見を聞いて行なわれており、外部評価結果はスタッフ会議等で話し合い改善に取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、2か月に1回開催し事業所の報告や取り組みについて意見を聞いているほか、グループホームの理解を得る機会にしている。議事録は全員が回覧できるようチェック表を利用し内容を把握している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	定期的に、市担当者、旧千厩町の介護施設関係者が参加する千厩地域支援会議が開かれ、意見交換の場が見られる。一時、管理者が退職不在になったときは市の指導、助言を受けて対応するなど市との連携を図っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月広報をカラーで印刷、配布している。廊下には行事や普段の様子等の写真が掲示されている。金銭管理も報告され、面会時にはケース記録で説明している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情処理の体制を整備(原因 検討会議 家族への報告処理簿)し、質の向上に取り組みがなされている。	○	苦情相談の記録は整備して職員に報告し、サービス提供に反映するよう努めている。意見が少ないようであるが、家族等が気兼ねなく意見が言えるような環境づくりに今後取り組んでいって欲しい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動があった時、家族に報告し理解が得られている。新採職員も利用者で紹介し説明を心がけているし、トラブルもなく配慮がなされている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	2ヵ月毎の内部研修計画があり、研修の実施記録は、職員間で共有するとともに個人ファイルも整備して職員の資質向上に取り組んでいる。復命書は職員の回覧チェック表で共有されている。限られた人数で長期研修にも(4泊5日)参加している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	全国、県、県南ブロック会議のネットワーク等で交流と連携を図っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	個人ファイル(生活歴等)の情報をもとに、利用者本人にも事前来所してもらいスタッフ会議で検討して、サービスの提供をしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員はやってあげる介護ではなく、一緒にやっていくというペースで、畑仕事、ドライブ、外出しての食事等利用者の意向を汲み、コミュニケーションを取りながら利用者と一緒に過ごし支援をしている。昔の歌や方言等で生活している様子が窺(うかが)える。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人のニーズを引き出し日々の行動や表情をくみ取り、把握し介護計画を立てている。家族アンケート、本人の希望聞き取り等利用者一人ひとりの意向の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護度が軽減になった利用者もあり、ケアが行き届いた介護計画になっている。	○	介護度が軽減になるという、よりよいケアをしていることが窺(うかが)える。今後さらに、利用者本位を目指すために、利用者を取り巻く人々(家族や主治医等)との連携や一層の協力を得て、より充実した介護計画の作成に取り組んでいって欲しい。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	日々の生活からケアプラン修正の有無をモニタリング総括表に記録して介護計画の見直しをしている。ケースに応じて柔軟に対応している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	デイ:3年未満の状況、ショート:行政からの許可が下りない。利用者の中には2年過ぎても帰宅願望があるのでデイの取り組みには、不安がある。外泊は、家族がきてくれている。通院、薬の受取り、散髪等の自主的サービスの提供は柔軟にしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所後も、かかりつけ医との連携を密にし、適切な支援を図っている。定期的な通院受診は家族対応としているが、対応できない場合は職員が対応して受診結果を家族に報告している。定期的な受診の結果も、家族から報告がなされている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約している医療機関もあり、近くに脳神経内科も開設され連携は確保されているが、単独型でもあり職員体制にも不安があり、積極的な方針の打ち出しには至っていない。	○	医療面については、医療機関と連携のもと、急変時の対応や重度化、終末期に向けた基本的方針を示し、今後家族と、話し合いながらの検討課題と思われる。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	学習会がなされており(虐待防止・ケアの質の向上)それが実践されている。契約書、重要事項説明書に秘密保持、個人情報の取り扱いが整備され、個人情報の提供には同意書が整備されている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	コミュニケーションを取りながら、安心して自分らしく生活していけるスタイルを大切にしている。日々の日常生活は、計画に基づいて行なわれていますが、食事の遅れや急な外出等利用者の希望を可能な限り取り入れている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備・後片付けを職員と一緒に、話をしながら楽しい食事になるようにしている。職員も一緒にテーブルを囲み利用者同士の、トラブルを回避するようにも工夫され、楽しい食事が出来るよう雰囲気づくりを大切にしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には3日に1回、午後2時からの入浴で、入浴可否のマニュアルを整備して一人ひとりの状況に合わせて支援している。入浴に関するマニュアルも整備されており、心肺蘇生法の勉強会も予定されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	農作業を得意としている利用者が多く、体が覚えている。畑の作物も多種あり、介護記録からも、いろいろな役割や、希望を把握して、実践されている。今、出来ていることに力を入れて支援が行われている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近距離で、多方面(川崎、室根、気仙沼、藤沢、)に外出支援が行われている。シイタケ採りや、花壇の見学、池の鯉を見に行く等、外の空気に触れることが出来ている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中に多動行為が見られる利用者もいるが、玄関にはセンサーが取り付けられ、出入りが把握できる状態にある。日中は玄関・廊下にも鍵をかけずに自由な暮らしを支援している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は、年2回実施、消防立会いで指導を受けている。地域消防団も参加しポンプ車で、実践している。地域の婦人部は、炊き出し等の支援をしている。	○	日中の避難訓練は行なわれているが、夜間の不測事態に対応して夜間における訓練も必要と思われる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	月々の献立表により給食サービスが行なわれており、一人ひとりの食事量、水分確保など、個々に整備、記録がなされている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間はスペースが確保されている。小上がりは畳が敷かれており、外全体が見えるように工夫されており、テラスも設置されている。職員は、食事作りしながら、ミラーで死角になる箇所でも利用者の行動が察知できる。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みのもの(写真や使いなれた日用品等)が、持ち込まれており、居室は明るく整理してある。利用者の状態にあったベットや筆筒の配置の気配りがなされ、使い勝手を良くしている。		